

# さしひいて考えて

年 組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、  
 白い玉が2つと黒い玉が5つ では 34点、  
 白い玉が6つと黒い玉が5つ では 42点 になります。  
 このとき、白い玉1つと黒い玉1つ の得点をそれぞれ図を使って考えます。

- ① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ● ● ●	→	34点
○ ○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● ● ●	→	42点
これらのちがいを考えることで、		
	→	( ) 点 … (あ)

- ② 上の図の (あ) のことから、白い玉1つ の得点を求めましょう。

(式)

点

- ③ 黒い玉1つ の得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ● ● ●	→	34点
○ ○	→	( ) 点
これらのちがいを考えることで、		
	→	( ) 点 … (い)

- ④ 上の図の (い) のことから、黒い玉1つ の得点を求めましょう。

(式)

点

# さしひいて考えて

年 組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、  
 白い玉が2つと黒い玉が5つ では 34点、  
 白い玉が6つと黒い玉が5つ では 42点 になります。  
 このとき、白い玉1つと黒い玉1つ の得点をそれぞれ図を使って考えます。

- ① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ● ● ●	→	34点
○ ○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● ● ●	→	42点
これらのちがいを考えることで、		
○ ○ ○ ○	→	( 8 ) 点 … (あ)

- ② 上の図の (あ) のことから、白い玉1つ の得点を求めましょう。

(式)  $8 \div 4 = 2$

2 点

- ③ 黒い玉1つ の得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ● ● ●	→	34点
○ ○	→	( 4 ) 点
これらのちがいを考えることで、		
● ● ● ● ●	→	( 30 ) 点 … (い)

- ④ 上の図の (い) のことから、黒い玉1つ の得点を求めましょう。

(式)  $30 \div 5 = 6$

6 点